

育成を目指す資質・能力

同分母の真分数や仮分数の加法、減法の計算原理や方法を理解し、計算すること

ICT活用のポイント

・授業前に、オンライン動画教材を活用して同分母の真分数や仮分数の加法、減法の計算方法を予習することで、言葉や図を関連付けながら計算原理を考える活動の質と量を確保すること

【前時の終末】

家庭で学ぶ内容と課題を確認する。

事例の概要

○家庭で学ぶオンライン動画教材の内容と、学習プリントを確認する。

【家庭】

オンライン動画教材を視聴して課題に取り組む

【事例におけるICT活用の場面】

○オンライン動画教材を視聴しながら学習プリントを利用して問題を考える。  
 【問題①】水が大きいバケツに $\frac{7}{8}$  L、小さいバケツに $\frac{5}{8}$  L 入っています。あわせて何 L になりますか。

【本時】

本時のめあてを設定し、考えを共有する

仮分数の計算のしかたを考えよう

【問題②】 $\frac{6}{5}$ mのテープから $\frac{4}{5}$ m切り取ります。残りは何mになりますか。

○授業当日の朝、学習プリントを提出する。  
 ○本時の問題を家庭学習で考えた問題と比較し、めあてを設定する。

【問題】大きい水筒に $\frac{5}{4}$  L、小さい水筒に $\frac{2}{4}$  Lのお茶が入っています。お茶は合わせて何 L ですか。

○家庭学習で学んだ単位分数を基にした考えを適用しながら個別に問題を追究する。  
 ○リトル図や数直線などの表現を用いた考えを共有し、単位分数を基にした言葉と関連付けながら計算のしかたへの考えを深める。  
 ○減法の計算にも考えを広げ、加法の計算方法の説明をもとにして考え、交流する。

考えを広げ、説明する

本時のまとめと練習問題を行う

○仮分数の加法、減法の計算に習熟する。



## 1. 単元名 「分数」

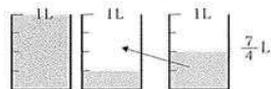
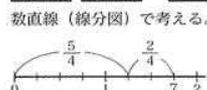
### 2. 学習計画

	時	学習内容	家庭学習計画	
		【前の単元の終末】 ◎次の単元への問題意識をもち、家庭学習の内容を把握する。	「1より大きい分数の表し方」についての動画を視聴する。	予
分数の表し方	1	◎1より大きい分数の表し方や、「真分数」,「仮分数」,「帯分数」の用語とそれらの意味を理解する。	「仮分数を帯分数で表す方法」についての動画を視聴する。	予
	2	◎仮分数を帯分数で表す方法を理解する。		予
	3	◎帯分数を仮分数で表す方法を理解する。	「帯分数を仮分数で表す方法」についての動画を視聴する。	予
分数の大きさ	4	◎分数を数直線上に表して、大きさの等しい分数を見つける。	「分数の大小比較の仕方」についての動画を視聴する。	予
		◎同分子の分数の大小比較の仕方を理解する。		デジタルドリルの確認テストに取り組む。
練習問題	5	◎同分母の仮分数と帯分数の大小比較の仕方を理解する。	「分数の加法, 減法の計算」についての動画を視聴する。	予
		◎基本的な学習内容に習熟し, それを活用する。		
分数の計算	6	◎同分母の真分数や仮分数の加法, 減法の計算原理や方法を理解し, 計算する。	「同分母の加法の計算」についての動画を視聴する。	予
	7	◎同分母の帯分数の加法の計算原理や方法を理解し, 計算する。		
	8	◎同分母の帯分数の減法(整数部分からの繰り下がりがなし)の計算原理や方法を理解し, 計算する。	「同分母の減法の計算」についての動画を視聴する。	予
	9	◎同分母の帯分数の減法(整数部分からの繰り下がりがりあり)の計算原理や方法を理解し, 計算する。	「同分母の減法の計算(繰り下がりがりあり)」についての動画を視聴する。	予
練習問題	10	◎基本的な学習内容を理解しているか確認し, それに習熟する。	デジタルドリルの確認テストに取り組む。	復

# 算数科学習指導案

展開（6／10時間） 【分数の加法、減法を扱ったオンライン動画教材を家庭学習で視聴後の授業】

ねらい：同分母の真分数や仮分数の加法、減法の計算原理や方法を理解し、計算することができる。

準備	教師：ホワイトボード、 児童：オンライン動画教材に準じた学習プリント	
時間	資質・能力を育成するための学習活動 S 予想される児童の反応（意識）	資質・能力を育成するための指導上の留意点 <b>目的</b> ○手立て、配慮事項 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">◇評価</span>
5分	<p>&lt;問題の把握&gt;</p> <p>1 本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>【問題】大きい水筒に<math>5/4</math> L、小さい水筒に<math>2/4</math> Lのお茶が入っています。お茶は合わせて何Lですか。</p> <p>T 式は、どうなりますか。</p> <p>S <math>5/4 + 2/4</math>です。</p> <p>T 式を見て、気付くことは何ですか。</p> <p>S 仮分数+真分数になっています。</p> <p>T では、めあては、どうなりますか。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">&lt;めあて&gt;仮分数の計算のしかたを考え、図や言葉で説明しよう。</p>	<p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;">問題を読んで式を書き、本時の見通しがもてるようにする。</p> <p>○本時の課題が、仮分数の加法の仕方を考えることであることをおさえる。</p>
30分	<p>&lt;課題の追究&gt;</p> <p>2 自力・グループ解決</p> <p>T <math>5/4 + 2/4</math>の計算の仕方を考えて、合わせたお茶のかさを求めましょう。</p> <p>S リットルますの図で考える。</p>  <p>S 言葉で説明する。 <math>5/4</math>は<math>1/4</math>の5個分。<math>2/4</math>は<math>1/4</math>の2個分。合わせると、<math>1/4</math>が<math>5+2</math>で7個分だから、<math>7/4</math>。</p>  <p>3 発表・検討</p> <p>T では、発表してください。</p> <p>S (それぞれ発表する。)</p> <p>T 共通していることは何ですか。</p> <p>S どの考えも<math>1/4</math>のいくつ分かで求めています。</p> <p>S 分母はそのまま分子を足し算しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和を確認する。</li> </ul> <p>T では、「<math>7/5 - 3/5</math>」の計算の仕方考えましょう。</p> <p>S 引き算だけど、計算の仕方は足し算と同じにできる。</p>	<p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;">「仮分数+真分数の計算の仕方」を「真分数+真分数の計算の仕方」を基に考え、理由を説明できるようにする。</p> <p>○3～4人のグループを作っておく。1つのグループ内で教え合いができるような編成をしておく。</p> <p>○家庭学習で取り組んだ学習プリントを活用し、オンライン動画教材の内容を想起させる。必要のある児童は、オンライン動画教材を見て確認できるようにする。</p> <p>○自ら説明することが困難な児童には、友達の説明を聞いてメモし、自分で説明できるようにする。</p> <p>○共通している点を考えさせることで、単位分数のいくつ分かという考え方で計算できることを確認する。</p> <p>○ひき算も単位分数のいくつ分かという考え方で計算できることをおさえる。</p>
<p>◇評価</p> <p>単元の評価規準【思考・判断・表現②】 &lt;発言・ノート&gt;</p> <p>(同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を、日常生活における場面や単位分数の個数に着目して考えている。)</p>		
10分	<p>&lt;本時のまとめ&gt;</p> <p>4 まとめ・適用</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">仮分数の計算も、真分数の計算と同じように、もとにする分数のいくつ分かを考えると計算できる。</p> <p>5 練習問題、本時の振り返り、家庭学習の連絡をする。</p>	<p>○仮分数のたし算やひき算も真分数の計算と同じように、もとにする分数のいくつ分かを考えると計算できることを確認する。</p>